

JCV journal

世界の子どもにワクチンを 日本委員会

2026 Spring Vol.26



子どもワクチン支援活動に、いつもあたたかいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆さまのおかげで、2025年も総額**1億1,774万5,176円分**のワクチンや関連機器等を支援国ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国に贈ることができました。

JCVは2026年も、できるだけ多くの子どもたちのちいさな命と笑顔を守れるよう活動を続けて参ります。今年も活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。

2025 Donation Report



クーデターから続く内戦状態の中、昨年3月に発生した大地震の影響もあり、ワクチン接種できない子どもたちを中心に、ポリオやはしか、ジフテリアの発生が確認されました。JCVでは、少数民族地域の子ども9,000人に、ポリオ等のワクチンや関連機器を継続して贈り、地域のワクチン接種活動を支えます。

支援内容（2026年向け）/ 3,282万1,865円分

- ワクチン：経口ポリオ、不活化ポリオ、MR、五価等約9,000人分を予定（※現地でワクチンを調達するため詳細については後日決定）
- コールドチェーンなど：注射器、コールドボックス、温度計、使用済み注射器回収箱、少数民族の保健機関育成・接種実施費用、技術アシスタント費用、プログラム管理費用



Laos



昨年訪問した北部の険しい山岳地域では、子どもたちを守るために、診療所や接種会場でワクチンやコールドチェーン機器が活躍していました。季節労働で全国を転々とする家庭の子どもたちへの継続したワクチン接種が大きな課題となっており、2025年には、ポリオとはしかの感染も確認されました。オンラインシステムの運用強化を進め、移動先でも子どもたちの接種状況を確認できる環境を整備しています。

支援内容（2026年向け）/ 3,320万6,533円分

- ワクチン：経口ポリオ 35万人分、BCG 31万人分、B型肝炎 7万人分



Bhutan



ヒマラヤの険しい山地に暮らす遊牧民の子どもたちにも、必要なタイミングでワクチンを届けるために、看護師は厳しい山道を片道8時間かけて、歩くで集落へと向かっています。こうした努力の積み重ねにより、ブータンにおけるポリオ、はしか、五価ワクチンの接種率は99%以上が維持され、子どもたちのちいさな命、そして笑顔と未来が守られています。

支援内容（2026年向け）/ 2,197万378円分

- ワクチン：経口ポリオ 4万人分、BCG 4万2,000人分、MMR 3,750人分、DPT 3万2,000人分、TD 5万2,000人分、B型肝炎 5,000人分
- コールドチェーンなど：注射器、使用済み注射器回収箱、コールドチェーンメンテナンス費用、ヘルスワーカー研修費用、保護者への啓発活動費用、プログラム管理費用



Vanuatu



2024年末の地震被災の影響も残る中、ワクチン接種率の改善が進められていますが、必要なワクチンすべてを接種した子どもは3人に1人しかいません。百日咳のアウトブレイクも確認され、ワクチン接種を完了できていない子どもの存在が、あらためて浮き彫りになりました。必要なタイミングで子どもたちがワクチン接種できるよう、現地と協力して支援を続けます。

支援内容（2026年向け）/ 2,974万6,400円分

- ワクチン：五価 2万7,000人分、不活化ポリオ 1万1,500人分、MR 4万9,075人分、MMR 2万2,500人分
- コールドチェーンなど：注射器、ワクチン運搬費用、コールドチェーンメンテナンス費用、プログラム管理費用

＜ワクチン詳細＞

ポリオ … 小児まひ、BCG … 結核、DPT … ジフテリア / 百日咳 / 破傷風

MR … はしか / 風疹、MMR … はしか / おたふく風邪 / 風疹

TD … 破傷風 / ジフテリア、五価 … ジフテリア / 百日咳 / 破傷風 / B型肝炎 / ヒブ(Hib)

